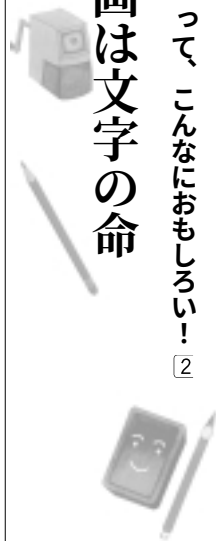


基本点画は文字の命

山梨大学教授 宮澤 正明
みやざわ まさあき

小学校で学習する文字の書体は楷書です。なぜ、楷書が用いられるのでしょうか。

漢字の書体には篆書・隸書・草書・行書・楷書があり、最後に楷書が完成しました。今から一三〇〇年余り前のことです。

篆書 隸書 草書 行書 楷書

その当時は、すでに篆書・隸書はすたれ、草書・行書・楷書が日常的に混用されていました。その中で、楷書は次第に公的な書体としての地位を獲得していったのです。それはなぜかというと、線を連続したり省略したりして流動的字形で書かれる草書・行書に対して、楷書は線の一つ一つが独立しているのわかりやすく、さら

その当時は、すでに篆書・隸書はすたれ、草書・行書・楷書が日常的に混用されていました。その中で、楷書は次第に公的な書体としての地位を獲得していったのです。それはなぜかというと、線を連続したり省略したりして流動的字形で書かれる草書・行書に対して、楷書は線の一つ一つが独立しているのわかりやすく、さら

篆書 隸書 草書 行書 楷書

波 波 ↓ け は

楷書の平仮名

に字形が構築性に富んでいることから読みやすいといった特長を備えていたからだと思われます。また、印刷術が発達する途上で発明された活字も楷書を基にデザインされました。それ以後、書き文字としての新しい書体は生まれることなく今日に至っています。

このように、楷書は書き文字や印刷文字の書体として最も多く使用されていることから、漢字の標準として示される書体になったのです。文字習得期にあたる小学校で学習する漢字が楷書である理由がここにあります。

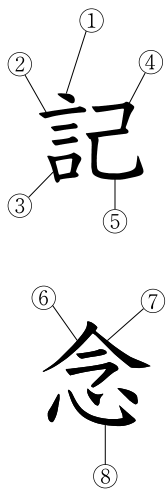
なお、平仮名は草書から生まれた日本独自の文字ですから、本来の筆使いや形は草書に近いのですが、楷書の漢字に調和させるために、あえて楷書の筆使いに近づけた楷書の平仮名を学習します。

楷書で書かれる文字の線は一つ一つ分離されて書かれます。この構成要素を「点画」といいます。

点画にはさまざまな書き方や形がありますが、大きく分けて八種類あり、名称がつけられています。

では、ここで問題です。

1 次の「記念」に示された①～⑧の点画の名称は？



2 次の「子・心・氏」は、どこがおかしなところがあります。この画をどうすればよいのでしょうか？

子 心 氏

1の解答

「①点②横画③縦画④折れ⑤曲がり⑥左払い⑦右払い⑧そり」です。この八種類が漢字を構成する最も基本となる点画で「基本点画」といいます。この中で特に④折れ⑤曲がり⑧そりの名称が理解されていないよう

です。「折れ」は、方向を変える部分で一度止めて書く画、「曲がり」は、方向を変える部分を止めないでカーブして書く画です。そして「そり」は、大きな円の一部を書く画です。

2の解答

「子」の二画目（そり）がはねていません。「そり」には必ず「はね」が付きます。「心」の二画目（そり）が右払いのようになっています。最近の若者はこの傾向が強く、片仮名の「バ」に読まれる可能性があります。「氏」の二画目（折れ）が縦画になっています。これらは、使われる点画が違うので誤字と判断されても仕方がない例です。基本となる点画の名称とその特徴を理解していれば、このような文字を書くことは減少すると思います。

書写の学習では、課題文字を書く前に「点画の名称を唱える」「使用されている点画を抽出して書く」などの習慣をつけると点画に対する意識が向上するでしょう。また、筆使いが未熟で半紙に上手く書けなくても、点画に関しての知識は得られる場合もありますから、この点も評価の対象にしたいものです。さらに、新出漢字などの指導においても、書写の授業で使用する基本点画の名称を用いて指導することが書写の日常化に役立つでしょう。

基本点画の書き方は、まさに文字の命なのです。